

令和6(2024)年8月26日
総務常任委員協議会

地域公共交通ネットワークの再構築について

- 1 AI新交通あいくるの運行区域の拡大について
- 2 柏崎市地域公共交通利便増進計画の策定について
- 3 あいくるサポーター制度の実施について

総合企画部企画政策課

1 AI新交通あいくるの運行区域の拡大について

(1) 概要

運行区域の対象要件を変更した上、AI新交通あいくるの運行区域に、**上条地区全域及び中通地区の一部**を加えます。

(2) 運行区域の対象要件の変更

現行	柏崎市都市計画区域内
▼	
変更案	当該地区（コミュニティセンター）から基準ポイント（柏崎駅、柏崎総合医療センター）までの距離がそれぞれ 10km以内 であること

	柏崎駅	総合医療センター
上条コミセン	8.1km	7.6km
別俣コミセン	11.6km	10.7km
野田コミセン	11.2km	10.7km
中通コミセン	9.7km	8.4km
高浜コミセン	13.3km	13.0km
北条コミセン	12.5km	10.7km
中鯖石コミセン	11.2km	8.8km
上米山コミセン	10.7km	12.6km
米山コミセン	14.0km	16.4km

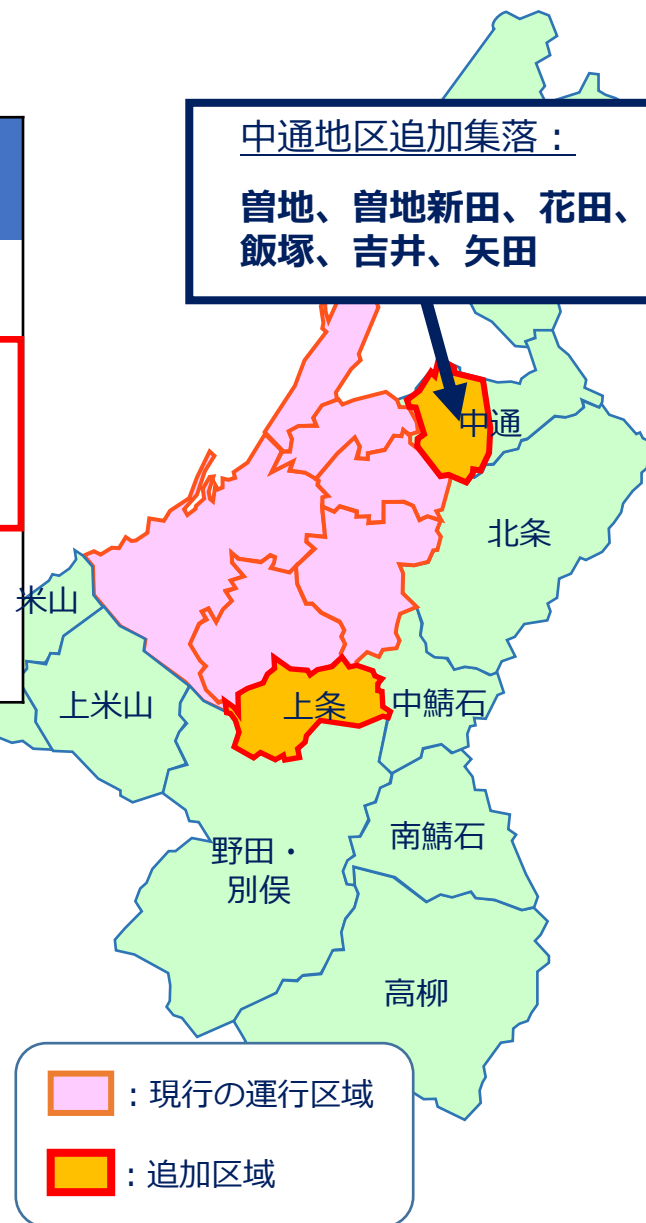
(3) 追加区域の概要

	運行面積	区域内人口 ※R5.12月末現在	乗降 ポイント
現行	88.2km ²	63,340人	387箇所
追加 箇所	約30.0km ² ※上条：19.32km ² 中通：約10km ²	1,966人 ※上条：746人 中通：1,220人	50箇所 程度
合計	118.2km ² ※面積カバー率： 約26.7%	65,306人 ※人口カバー率： 約85.5%	437箇所 程度

※中通地区の集落のうち、成沢(8世帯)、五十土(6世帯)、
 小黑須(4世帯)は、基準ポイントとする柏崎駅及び柏崎
 総合医療センターまでの距離が10kmを大幅に上回ること
 から、効率性を考慮し、追加区域から除外しております。
 なお、当該集落については、別途、移動手段の確保に
 向けた施策を検討しております。

(4) 運行区域拡大の時期

令和7(2025)年3月下旬(予定)



(5) その他特記事項

○運行区域の拡大に伴い、運行車両を2台増台します。

○追加区域において、今後、乗降ポイントの新設作業を進めます。
設置箇所の検討に当たっては、関係者と協議を行ってまいります。

○現在、今回追加する地区以外の中山間地域において、移動手段の確保に向けた施策を盛り込んだ計画の策定を進めております。

2 柏崎市地域公共交通利便増進計画の策定について

地域公共交通利便増進計画・・・

交通ネットワークの見直しや、使い易いダイヤ・運賃の改善等について、地域公共交通計画に比べて、詳細に記載する実施計画（アクションプラン）

(1) 策定のメリット

- 運行費補助（確保維持事業）の特例
補助上限額の引き上げ、新規性要件の緩和
- 社会資本整備総合交付金による支援（EV設備の導入など）
- 車両導入に関する補助率引き上げ

(2) 計画に定める施策等（案）

- 中山間地域を含む地域交通の再編を含む地域公共交通ネットワークの再構築
- 市街地循環バス（かざぐるま・ひまわり）の見直し

3 あいくるサポーター制度の実施について

- 医療、商業など各分野においても重要な役割を果たしているあいくるについて、行政や交通事業者のみならず、**地域全体で確保していく体制を構築**
- 当制度の趣旨に賛同いただける市内の事業所、団体等から協賛金を御負担いただき、あいくるの運転士の確保や運行維持に係る経費として充当
- 協賛の特典として、あいくる車両外観に広告を掲載などを予定

